



# 三気の門

## PORTAL SANKI

NO.24

2025.11.5

文責：佐藤正一

## 日本にも小皇帝がどんどん生まれている…。

～ほめる教育ばかりが行き着く先は…～



お隣<sup>となり</sup>の大国<sup>たいこく</sup>、中国<sup>ちゅうごく</sup>はつい最近<sup>さいきん</sup>まで「一人っ子政策<sup>ひとりこせいさく</sup>」をしていたので、生まれた子供<sup>こども</sup>をととても大切<sup>たいせつ</sup>にし、父母<sup>ふぼ</sup>だけでなく、祖父母<sup>そふぼ</sup>もそろって猫かわいがりに育てる人が多かったそうです。そうやって生まれたのが、「小皇帝<sup>しょうこうてい</sup>」と呼ばれるわがままな子供<sup>こども</sup>。そして今や、その小皇帝<sup>しょうこうてい</sup>が大人<sup>おとな</sup>になり、社会<sup>しゃかい</sup>を支える立場<sup>ささたちば</sup>になりました。

当然<sup>とうぜん</sup>ながら、様々な問題<sup>さまざまもんだい</sup>が噴出<sup>ふんしゅつ</sup>しています。これは私<sup>わたし</sup>たち日本<sup>にほん</sup>も例外<sup>れいがい</sup>ではありません。最近<sup>さいきん</sup>は厳しい指導<sup>きびしどう</sup>や困難<sup>こんなん</sup>な状況<sup>じょうきよう</sup>に追い込んで、子供自身<sup>こどもじしん</sup>の力<sup>ちから</sup>で乗り切らせるような

体験<sup>たいけん</sup>をさせられなくなりました。そんなことをすると激しいクレームをしてくる一部保護者<sup>ほごしゃ</sup>や騒ぎ立てるマスコミ<sup>さわ</sup>がいるからです。もちろん、行き過ぎた指導<sup>しどう</sup>や体罰<sup>たいばつ</sup>は言語道断<sup>ごんごどうだん</sup>ではありますが、ほめてばかりで育てた人間<sup>にんげん</sup>は、残念ながら強い人間<sup>にんげん</sup>には育たないことは、社会<sup>しゃかい</sup>で働く保護者<sup>ほごしゃ</sup>の皆様<sup>みなさま</sup>も理解<sup>りかい</sup>できることでしょう。

実際に、社会<sup>しゃかい</sup>の中でも若い人<sup>なかわか</sup>の中で『皇帝漢<sup>こうていかん</sup>』と呼ばれる社会人<sup>しゃかいじん</sup>が出没<sup>しゅつぽつ</sup>し始<sup>はじ</sup>めているそうです。『皇帝漢<sup>こうていかん</sup>』は、「自分<sup>じぶん</sup>はすごい」「自分<sup>じぶん</sup>はなんでもできる」と大変自己肯定感<sup>たいへんじこ</sup>が高いので、先輩<sup>せんぱい</sup>や上司<sup>じょうし</sup>の助言<sup>じょげん</sup>は一切聞<sup>き</sup>かない。「できます」「特に問題<sup>とくもんだい</sup>はありません」と周<sup>まわ</sup>りに相談<sup>そうだん</sup>することなく進め、うまくいかないと「顧客<sup>こきゃく</sup>が悪い」「上司<sup>じょうし</sup>が悪い」「政治<sup>せいじ</sup>が悪い」と責任転換<sup>せきにんてんかん</sup>。先輩<sup>せんぱい</sup>の社員<sup>しゃいん</sup>や管理職<sup>かんりしよく</sup>が上手<sup>じょうず</sup>にフォローしても、それに気づかず、全部<sup>ぜんぶ</sup>、自分<sup>じぶん</sup>のおかげとご満悦<sup>まんえつ</sup>になるのです。

逆に自己肯定感<sup>じこ</sup>が低い若者<sup>じやく</sup>も少なくはありません。これも深刻な問題<sup>しんこくもんだい</sup>。学校<sup>がっこう</sup>は不登校<sup>ふとうこう</sup>。学校<sup>がっこう</sup>を卒業<sup>そつぎよう</sup>しても会社<sup>かいしゃ</sup>を欠勤<sup>けつきん</sup>。すぐ辞<sup>や</sup>めてしま<sup>や</sup>う。辞<sup>や</sup>める時<sup>とき</sup>も退職代行<sup>たいしよくだいこう</sup>会社<sup>かいしゃ</sup>に任<sup>まか</sup>せて向<sup>む</sup>き合<sup>あ</sup>わない人<sup>ひと</sup>も増<sup>ふ</sup>えていると聞<sup>き</sup>きます。体験<sup>たいけん</sup>を通<sup>とお</sup>して厳<sup>きび</sup>しさを学<sup>まな</sup>ぶ。社会<sup>しゃかい</sup>で活躍<sup>かつやく</sup>している人<sup>ひと</sup>から直接話<sup>ちよくせつはなし</sup>を聞<sup>き</sup>く。そんな教育活動<sup>きょういくかつどう</sup>を通<sup>とお</sup>して鍛<sup>きた</sup>えていくしかな<sup>おも</sup>いかなと思います。